

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

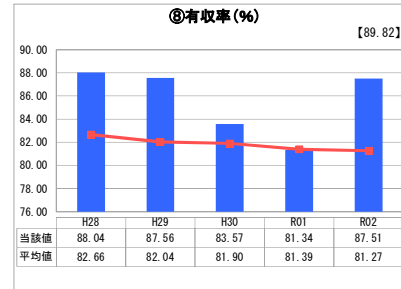
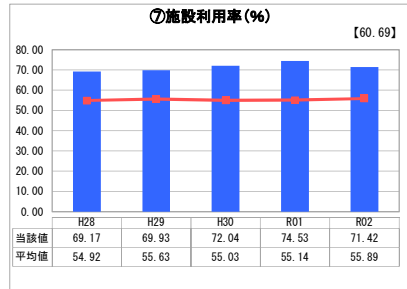
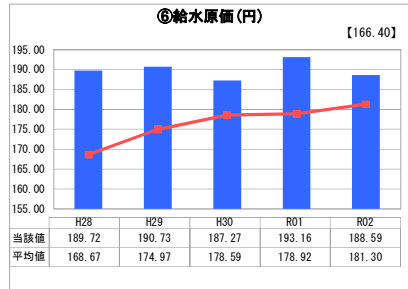
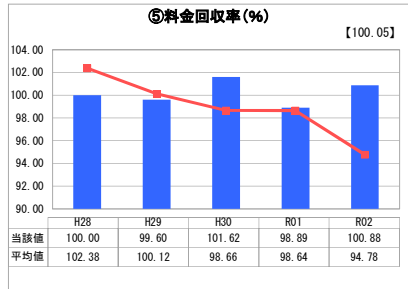
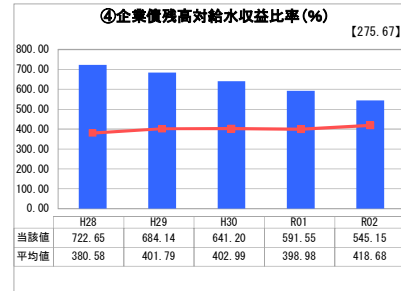
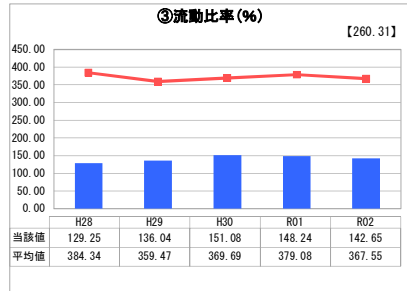
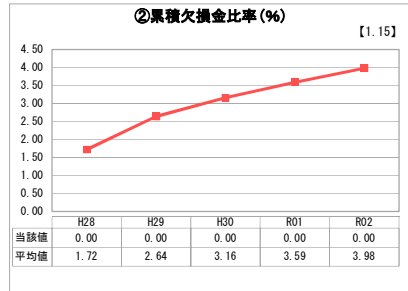
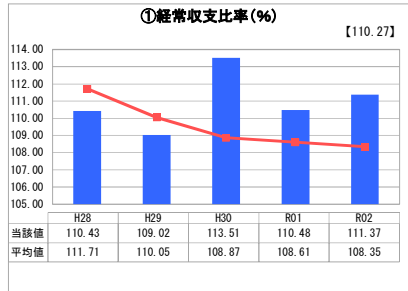
宮城県 高橋町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	50.40	89.83	3,311	

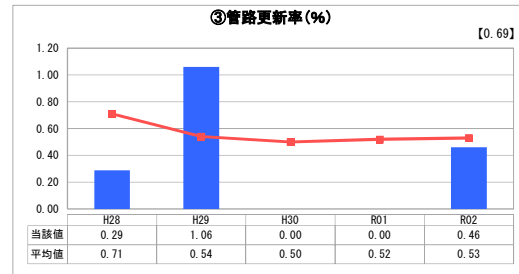
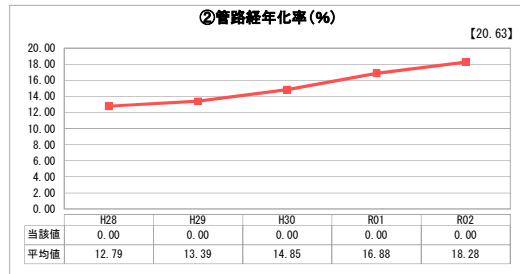
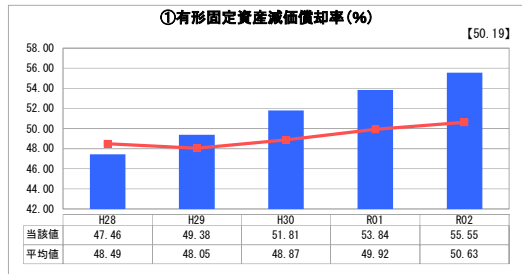
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
20,141	43.80	459.84
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,045	10.28	1,755.35

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率  
令和元年度と比較すると増加しており、経常収支比率は100%を超えて、健全な水準にある。
- ②累積欠損金比率  
欠損金がないため、健全な状態にある。
- ③流動比率  
100%を超えており、健全な水準にある。流動資産・流動負債ともに、大きな変動は予想されないため、今後、大きく増減することなく推移するものと推察される。
- ④企業債残高対給水収益比率  
高い水準ではあるが、年々減少傾向にあり、今後も減少していくものと推察される。
- ⑤料金回収率  
100%を超え、平均値を上回っており、健全な水準にある。今後は100%前後で推移していくと推察される。
- ⑥給水原価  
令和元年度から低下しているが、類似団体と比較すると依然として高い水準にあり、今後は経費の削減等の改善が必要となる。
- ⑦施設利用率  
類似団体と比較して高い水準で、適切且つ効率良く水道施設を利用できており、良い状態を維持できている。
- ⑧有収率  
漏水調査が奏功し、前年度から大幅に改善された。今後も漏水調査等を計画的に実施し、効率の良い運営をしていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率  
平均値より高い水準であり、今後も増加していくと推察される。定期的な施設の更新が必要となる。
- ②管路経年率  
当該値0%のため、適正に管路更新が実施できている。
- ③管路更新率  
類似団体と比較するとやや低いが、概ね平均値で推移しており、計画的な管路更新が行われている。

## 全体総括

計画的に管路の更新を実施しているため、企業債残高対給水収益比率は高いが、概ね健全な経営状況にある。また、昨年度の大規模漏水調査を実施したことで有収率も改善された。今後も健全かつ効率的な経営を継続しながら、管路や施設等の整備を実施していく。